

いわゆる「眼球使用困難症」に関するシンポジウム 参加申し込みフォーム

羞明等のいわゆる「眼球使用困難症候群」の方々は、羞明等により眼を開けることができずにもものを見続けることが困難であるほか、眼を使うことによる身体的ダメージが強く、短時間眼を使っただけでも数日寝込んでしまう方も多くいらっしゃいます。しかし、社会的には認知がされておらず、また医療関係者の間でも知られていない現状にあります。そのため、誤解を受けたり、社会的支援を受けられていません。

このシンポジウムでは、多くの皆さまにこの症状を持つ方について知っていただくことを目的として実施しています。なお、このシンポジウムは、厚生労働省の令和3年度障害者総合福祉推進事業の中で社会システム株式会社が実施するものです。

※「眼球使用困難症」とは、主に羞明（通常では苦痛を感じない光量に対して、まぶしく不快に感じる状態）の症状があると同時に、「眼痛」や「まぶたが開けづらい・開けられない」、「見え方の異常」「眼部の不快感」などが現れ、眼球の使用が困難な状態にある症状のことを言います。



・シンポジウム日時：3/12（土）10：00～12：00
※ZOOMウェビナーを予定

・参加方法：以下のフォームより登録頂いたメールアドレス宛に、開催日直前にZOOMウェビナーURLをお送りいたします。

・シンポジウム内容（予定）
当事者の方へのアンケート調査結果、医師の症状についての解説、当事者の意見をご紹介します。予定です。
① シンポジウム開催
② 本事業(厚生労働省障害者総合福祉推進事業)についての説明
③ 昨年度アンケート調査から見える眼球使用困難症の方の実態
④ 症状に関する医師の解説
⑤ 当事者から見た生活上の困難さ、困窮さ
⑥ 質疑応答（チャット等による）

【シンポジウム実施主体】
社会システム株式会社 企画調査グループ 梅崎 高光
(厚生労働省 令和2年度 障害者総合福祉推進事業 受託会社)
連絡先：bf3@crp.co.jp

※以下のフォームよりお答えするのが難しい方は、上記のアドレス宛に「シンポジウム 応募、氏名」を記入して、送信ください。

 cross.mituyoshi@gmail.com（共有なし）
[アカウントを切り替える](#) 

*必須

お名前（匿名希望可）*

回答を入力

メールアドレス（半角）※開催日直前にZOOMのURLをお送りします。間違いのないよう記入ください*

回答を入力

年齢

- 10代以下
 20代
 30代
 40代
 50代
 60代
 70代
 80代以上

お住まいの都道府県

回答を入力

現在の職業

- なし（未就労）
 学生
 派遣・アルバイト
 会社員
 行政職員
 眼科医師
 神経内科医師
 医師以外の医療・福祉関係職
 研究職（大学・研究機関）
 その他: _____

羞明（いわゆる眼球使用困難症）の症状の有無*

- 羞明（いわゆる眼球使用困難症）の症状がある
 羞明（いわゆる眼球使用困難症）の症状はないが、他の障害がある
 該当しない

上記で「羞明（いわゆる眼球使用困難症）の症状はないが、他の障害がある」と回答頂いた方、障害の種類を教えてください。

回答を入力

送信

1/1 ページ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは 社会システム株式会社 内部で作成されました。不正行為の報告

Google フォーム